

---

# スマ村のみんなの生活

スマッシュ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

スマ村のみんなの生活

### 【著者】

スマッシュ

### 【あらすじ】

長くなると思いますががんばります  
みんな見てくれよ。

その前のみんなは行く準備 プロローグ（前書き）

さて、かききれるかな？

## やの前のみんなは行く準備 プロローグ

キノコ王国

こんなにん・・・

？？？「マリオさんとルイージさんお手紙で～す」

マリオ「おおパレッタ! 苦労さんどこからのお手紙?」

パレッタ「えーと、この世界のマスター・ハンドさんからです」

マリオ「また、あいつか・・・」

ルイージ「そうだね・・・」

？？？「こんなにちわ～」

マリオ「あれ? ピーチ姫? 何しているんですか?」

ピーチ「私にもその手紙と同じ内容よ。もしかしてまだ、読んでない?」

マリオ「うううん・・・」

ピーチ「読んでみれば?」

ルイージ「兄さん読んでみよう!」

封筒の中にはこんな手紙があつた。

マリオ殿へ

マリオさん、あなたはスマッシュ・ショーブラザーズ一員なので今から至急この世界へ来てください。

この手紙を持って来てください。では、後ほど。

マリオ「ふーん」

ルイージ「行くよ兄さん」

マリオ「ああ そうだな!」

ピーチ「うふふふふ」

ジャングル

？？？「つほ～～」

？？？「つさやわやわやわや」

「ニツムサツノヨリ一ルナリトヤーである。」

ドンキー「うは～～（おい、ディディー）の手紙なんだ？」

「うして一匹は走つて行きました。

ヨツシーアイランズ

緑ヨツシー「ねえこれなんだと思ひ?」

赤ヨツシーーえーとなんだろう?」

「シーツ三三ツシ二一 食べ物でもねーしな」

れを持つて僕は出かけるから留守番していくね」

ラメシフ「ハシペヒ世誠!!! うぬ世ガ、・・・

クッパ「何だと……ボカッ

カメツク「グヘヘヘヘ」

クッパ「そうかそうか、よし！」

カメリック「どうかされましたか？クッパ様？」

ケツハ - 5年ぐら<sup>イ</sup>で監守懲<sup>シ</sup>じでおいでくれ今から用事があるからな

卷之三

カジペ「ナリ」  
ニツナリ

クッパは自分専用の飛行機で飛んでいた

そしてワリオは

？？？「ワリオ～～～手紙だぜ～～～」

「フリオ、何だフリイー、ジ、そ、う、そ、う、し、い、な、ん、手、紙、か、か、せ、い、」  
「カ、ン、」

ワルイージ「ぐぎや！」

ワリオ「フムフムよしワルイージちょっと行ってくる」

ワルイージ「んが? なんだ? ワリオどこか行くのか?」

ワリオ「ああちょっとな」

ワルイージ「俺も連れてつてくれ~」

ワリオ「駄目だぜ。じゃ あな~」

ワリオはバイクを取り出し走っていった。

ハイラル王国（城にて）

？？？「オ~ イゼルダ~」

ゼルダ「あらリンクどうしました?」

リンク「こんな手紙が届いたんだよ。ゼルダも届いてる?」

ゼルダ「うんあるよしかも2つ・・・」

リンク「なぜ?」

ゼルダ「シークもだつて」

リンク「そうだつたね」

？？？「俺も誘われたぜ! リンク!」

リンク「お前はガノンドロフ!」

ガノンドロフ「ふんまたお前とやれるとは久しぶりだな」

？？？「ふふふふ・・・」

リンク・ガノンドロフ「いつの間になつていたんだ、シーク?」

シーク「面白すぎてマスクで隠しているんだよ。以降じゃないか  
この世界の所に!」

シークは急にゼルダに戻った

ゼルダ「じゃあ行きましょう」

リンクたちは馬に乗つて行きました。

もつひとつつの国

？？？「ちゃんと行かしてくれるかな?」

？？？「何しているんだリンク?」

リンク（トウーンリンク）「うわあ、驚いたよ、テトラ！」  
テトラ「いや、さっきから」ソして、いたからなんだろなーと思つたからな」

トウーン「いやせつあこじんな手紙が届いて・・・」  
テトラ「なら行けばいいじゃないか！」

トウーン「ありがと！」

トウーンリンクは船で行きました。

### スター・シップ内部

？？？「何かしら？いきなりでたこの手紙は？」

10分間後

サムス「ふーん。じゃあ行こつかな」

### エンジンランド

？？？「わついきなり紙が飛んできた！」

ピジト「えーとなになに・・・よしじやあ行こつー。」

### どこの山

？？？「これ何、ナナ？」

ナナ「手紙でしょ、ポポ」

ポポ「うんそうだけどまあ一様読んでみよう・・・」

ナナ「じゃあ行きましょう」

ポポ「そうだね！」

二人は山を降りて行きました。

### 研究室

ロボット「エート、ノノブンハますたーはんどカラテスネフムフム・  
・・デハイキマショウ」

プロブランド

？？？「ぼよぼよ（ルンルン）」

？？？「おい、カービィ！」

カービィ「ぼよ、ぼよよ？（なに、メタナイト？）」

メタナイト「お前宛に手紙だ。しかし私にも届いているんだがな」

カービィ「ぼよ・・・ぼよつ！（ふーん・・・よし、行こう！）」

メタナイト「その意氣だカービィ！」

？？？「待てゾイ！」

メタナイト「デデデ陛下もですか！」

デデデ「そうゾイ！我輩も行くゾイ！」

メタナイト「デデデ陛下もですか！」

メタナイト「待てゾイ！」

ホコタテ星のホコタテ運送会社

？？？「オリマー先輩手紙ですよ」

オリマー「ありがとうございますルーイ君・・・ふーん」

ルーイ「どうしました？先輩？」

オリマー「ちょっと社長に5年の休暇をもらえないか聞いてくる  
ルーイ」5年もそんなに休暇もらえないと思いますよ

5分後

オリマー「もらえた・・・」

ルーイ「なぜ！？（すげーー）」

オリマー「知らないよ

フォックスとウルフとファルコ

フォックス「よし、ん？なんだメールか？誰からだろ？？」

ファルコ「おいフォックス、お前のところにもきたのか」

ピコーンピコーン

フォックス「ムツ！」

ファルコ「奴のおでましか・・・」

ウルフ「だーれが奴だつて？ムツなんだ、これは・・・」

フォックス「まさか！」

ファルコ「そのまさかだろうな

ウルフ「フォックスまさかお前も・・・」

フォックス「ああそうだとも」

ウルフ「・・・」

とあるレース場

？？？「うお～～～」

？？？「むお～～～」

2つの車がぶつかりあつてていた

？？？「今日こそ負けないぞ、ファルコン！」

ファルコン「ほう勝つ自信があるのか、しかしお前の嫌いなカーブ  
があるぞ」

？？？「ぐわ～～～」ドカ～～～ン

ファルコン「よし勝つた！」

？？？「お～いファルコン手紙だぞ～」

ファルコン「おおさんきゅうなになに・・・ほうせつか、すまんが  
俺一時レースができなくなる用事ができたすまんな」

？？？「そうなの？なら仕方がないや

ファルコン「行つてくるぜー！」

ポケモンギルド

ピカチュウ「へー」

ポッチャママ「どうしたの」

ピカチュウ「ちよつと親方様に聞いてくることができたから聞いて  
くる

10分後

ピカチュウ「やつたーー」

ポッチャママ「どうしたの？」

ピカチュウ「今日から5年間違う世界に行つてくると言つたら・・・

ブクリン「行つてきなよ・・・と言われちやつたよ

ポッチャママ「じゃあなぜ10分かかるのさ？」

ピカチュウ「……………」

ポッチャマ「言えないのか……」

ピカチュウ「まあ、僕は行く準備するからね。あつやういえばルカリオとプリンも同じ」と言ってたよ

ポッチャマ「プリンはともかくなぜルカリオ……？」

ピカチュウ「まあ、目的は同じなんじゃない？まあ、いいやいつてきま～す」

ポッチャマ「行つてらっしゃい……」

マサラタウン

ポケモントレーナー（レッド）「よし、またこいつらを使えるなんて久しぶりだな」

オーキド博士「おおレッド君もつ行く準備が出来るとののか早いの」

レッド「あつ博士！はい今日のつり出発するので」

オーキド博士「そういうそくかい、では気お付けて行くのだぞ！」

レッド「はいっ、行つてきます！」

アカネイア大陸の城

？？？「あの……マルス？」

マルス「なに？今行く用意しているからそこ用件を書つて」

？？？「何の用意をしていらっしゃるのですか？」

マルス「何かつて5年間違う世界の仲間たちと暮らすんだって」

？？？「そうですか……では、行つてらっしゃい……」

マルス「うん、行つてくる」

クロミア王国にあるグレイル傭兵团基地

？？？「よしこれで、いいな」

？？？「お兄ちゃん何しているの」

アイク「ん？ミストか？」

ミスト「いつたい何しているの」

アイク「いや、どうしたらこのラグネルが入るか試しててんだが  
入らないだから、手で持つていくよ」

ミスト「いつたいどこへ行くのよ」

アイク「前俺がいなかつた日に行つていたところだ」

ミスト「ふーん、何か食べ物ほしい? 遠いんでしょ? おにぎり作つ  
てあげるからまつてて」

アイク「分かった」

オネット

???「ママ僕また行きたい場所があるから行つていい?」

お母さん「いつまでいるの、ネス?」

ネス「5年間・・・」

お母さん「5年間! ? まあいいわ行つてきなさい」

ネス「ありがとママ」

ノーウェア島タツマイリ村

???「ねえ父さん行つてきてもいいかな?」

フリンクト「そうだなあ、ヒナワにでも聞いてみるリュカ」

リュカ「お母さんに聞いてもいいな」

フリンクト「仕方がない、行つてこい」

リュカ「やつたーありがとう。あつでもじうじょうくベニモはダス  
ターに返したしな」

フリンクト「また借りればいいじゃないか

リュカ「うんそうだね」

平面世界

???「ぴぴぴぴぴ(さつそく)行こう」

即終了!

## シャドー モセス島

？？？「なんだ？いきなり無線が・・・」しかしスネークなんだ？

？？？「スネーク！マスター・ハンドから手紙がきてるぞ！」

スネーク「ふむ、そうか、今戻る！」

ソニックたちが住んでいる世界

？？？「お～いソニック～」

ソニック「Whatなんだい、テイルズ？butいまは忙しいんだ！」

テイルズ「ソニック探したよもつこんなとこ今までこるし」

ソニック「用がないなら行っちゃうぜ」

テイルズ「なぜ勝手に行くの？」

ソニック「Lookこれを見な

テイルズ「へ～そつなんだじゃあ行つたりつしゃい

ソニック「行つてくるぜ～！」

その前のみんなは行く準備 プロローグ（後書き）

長すぎた！

大変だ！

この先が思いやられる

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8261y/>

---

スマ村のみんなの生活

2011年11月24日18時53分発行